

Quarterly TAKACHIHO



2022年の収穫を
後輩へつなぐ年へ!

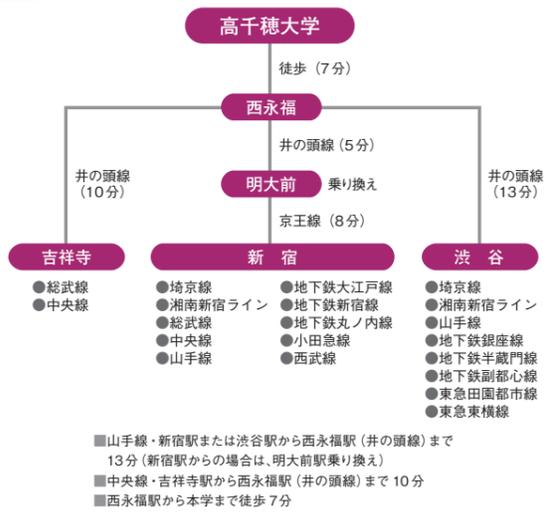


TAKACHIHO

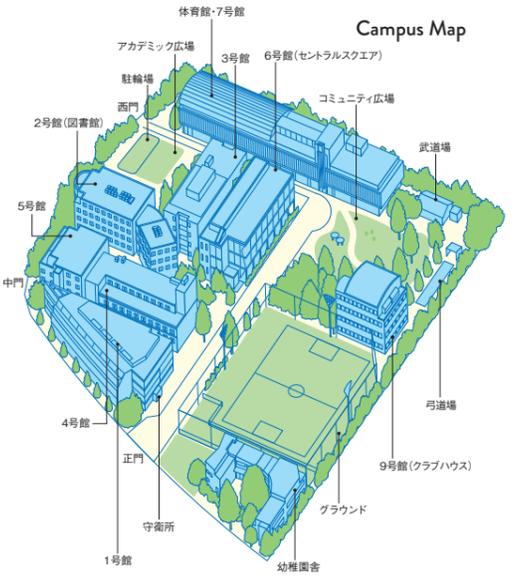
発行責任者: 渡邊 均 発行: 高千穂大学
〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1
TEL: 03-3313-0276
MAIL: koho@takachiho.ac.jp



ACCESS



Campus Map



新年おめでとうございます。本年も園児・学生をはじめ学園関係者全ての皆様方にとり、安寧の1年でありますよう心より御祈念申し上げます。

既に皆様方御承知のことと存じますが、令和5（2023）年5月27日は、本学園創立者川田鐵彌先生御生誕150周年（明治6（1873）年5月27日）及び、本学園創立120周年でございます。

先生は明治32（1899）年、東京帝国大学文科大學漢文科を御卒業され、陸軍幼年学校教授を歴任致しました。その後、明治36（1903）年、30歳にして高千穂尋常高等小学校を開設され、さらに、明治40（1907）年、幼稚園、明治42（1909）年旧制中学校、そして、大正3（1914）年、現在の高千穂大学の前身である私学としては我が国最初の高千穂高等商業学校（昭和19（1944）年3月31日、戦時下において校名を高千穂経済専門学校と改称、終戦を経て昭和25（1950）年4月高千穂商科大學商学部商学科として開学）の創立により、ここに、「幼・小・中・高等商業」という一貫教育体制を完成されました。多くの優秀な卒業生が輩出され、「名門高千穂」としての名声が広く社会に確立されていくこととなります。

学園創立当時30歳という若き先生は多くの方々により御支援を頂いており



理事長
藤井 耐

高千穂学園創立者川田鐵彌先生御生誕150周年 高千穂学園創立120周年

ます。ここでは、特にお二人の方のみ御紹介させて頂きます。

お一人が、先生と同郷である高知県御出身の谷干城先生でございます。土佐藩士であり、板垣退助と同年齢でもあります。明治新政府（1868年）下において、熊本鎮台司令長官を拝命され、さらに明治18（1885）年、第一次伊藤博文（44歳）内閣では農商務大臣に御就任（48歳）されております。川田鐵彌先生が高千穂尋常高等小学校を設立された時には66歳とございました。お二人目は、渋沢栄一翁であり、明

治36（1903）年学園創立年度の8年後、明治44（1911）年に、本学園の評議員に御就任されております。渋沢栄一翁は1840年のお生まれでございますので、71歳の御年齢となります。

学生の皆様はこの連綿として続く本学の歴史・伝統を継承する者として一層の誇りと責任感を醸成して頂けるようお願い申し上げます。創立者の説かれる建学の精神・教育理念である「学風の指針」と「学風の目標」は私たちが本学学生としての行動原理を御呈

新年あけましておめでとうございます。この1年が皆様にとって幸多い年になることを心より祈念いたします。

令和5（2023）年はいよいよ高千穂学園創立120周年を迎えることとなります。高千穂大学の創立者である川田鐵彌先生は、高千穂学園のルーツとなる高千穂尋常高等小学校を明治36（1903）年に、現在の高千穂大学の前身である高千穂高等商業学校を大正3（1914）年に設立しました。その設立趣意書には、「本校の目的は、人格養成を主とし、商業上必要となる高等の教育を施すにあり」と書かれています。以来、本学は100年を超える歴史の中で、常に人格教育を重視し、実学を通して、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいりました。2020年に発生した新型コロナウイルス感染症に対しても、その都度、対応策を重ねながら今日に至っております。

120年目を迎える高千穂学園の一員として皆様は新年を迎えるにあたりひとこと述べさせていただきます。それは不易と流行です。不易とは変わらないことや本質的なことを指し、流行は時代を反映して変化することを指します。この両面を統合することが望ましいということを指した言葉です。もともととは俳句の理念ですが、ビジネスや学びにも通じるものです。

現在、大学での学びは、テクノロジーの進化で、新型コロナウイルス感染症を



学長
寺内 一

不易と流行 ——ポストコロナのコミュニケーション——

契機に、ウェブでの授業が手軽に行われるようになり、記録性も飛躍的に向上しました。その結果、時空を超えたコミュニケーションが迅速（瞬時）に行われるようになり、情報交換や対話はスピード感が増しました。皆様も場所にとらわれなくなり、自分のペースで学びやすくなり、様々な情報へのアクセスも容易になったことを実感していると思います。

しかし、その代償として、多様な相手を持つ細かな状況や周辺情報の入手を行うことが欠けがちになり、真意の把握や信頼関係の構築が困難になってきたことは否定できません。皆様も対面授業での関わり方の減少からグループワークなどのやりとりの難しさを感じたことがあるかと思います。これは、「大意の伝達・把握」と「正確な伝達・把握」の棲み分けがされた新たなコミュニケーション

ションが大きな鍵になってきたとも言えます。まさに、動的環境（バーバルやウェブ会議、自動翻訳、迅速性、マクロ的）で行われる大意の伝達と把握、静的環境（書かれたドキュメント、人間翻訳、正確性、ミクロ的）で行われる正確な伝達・把握を踏まえたコミュニケーションが重要になってきています。

こうしたテクノロジーはさらに進化を続けていくことが予測されていますが、それは細分化・分業化を生み出し、情報は劣化していく可能性があります。直接の対話は内容だけでなくオーラをも伝えます。電話は振動を伝えます。スマートフォンはデジタルで振動の上下と雑音を切って音声をクリアーにしています。そのように、テクノロジーが導入されるほど情報は劣化します。例えば、ライブ↓レコード↓CD↓YouTubeと音源は

示されると同時に人間として生命有限の人生を歩むうえで行動原理を指し示されているとも言えるものです。私達人間は人それぞれ程度の差こそあれ、また意識しているか、否かともかくとして将来への希望と同時に日々、精神的・心理的苦悩・不安等を抱えつつ、かつ闘いつつ「今」を生きて、「今」を繰り返して、「歳月」を積み重ねていくこととなります。

学生の皆様も現在本学学生として、また青年期を生きる者として、様々な苦悩・不安を抱えつつ、かつ闘いつつ「今」を歩まれているものと思います。約80年間という生命有限の人生、学風の指針である「常に半歩」の歩みを継続して下さい。「努力の継続性」による「歳月の積み重ね」が、「人間としての成長」を育み、徐々にではあるかも知れませんが精神的・心理的に強い逞しさを醸成されていくものと思います。「今」を「真摯に生きること」の大切さを看過しないで下さい。学園創立者川田鐵彌先生による「学風の指針」と「学風の目標」を常に私達の日常生活における行動原理として捉えて頂きたいと思っております。令和5（2023）年、新年を迎えるにあたり、改めて川田哲学を見つめて参りたいものがございます。それでは、本年もよろしくお願致します。

令和5（2023）年 元旦

どんどん劣化しているのです。そうした劣化したものを補うものが、チャット・Eメール、電話での確認作業と言えます。それでも足りない部分を、懇親会、ネットワーキングなどをして補っていきます。その棲み分けが行われているのが現状であり、実は教室の授業をウェブ授業に移した場合に、確認作業に相当する仕組みを十分用意しないと、学生の理解度は一気に落ちてしまふという報告があるのです。皆様も双方向性が高くない時に、正しく理解できているか不安を抱えながら授業を受けたという経験があると思います。

まさに、学びやコミュニケーションにおいて、不易流行が重要となっているのです。どのような社会になろうとも学びの本質は変わりません。しかし、環境に応じて変化を積極的に受け入れ、様々な手法を取り入れていくのも大切です。不易と流行のバランスをとり、新しいものを積極的に取り入れていくってくださいます。従来のコミュニケーションだけでなく、デジタルやITを介したものでなく、そこから可能なことがあり、それによって新しい価値が創造できるはずで、変化の大きな時代は不安が大きくなる一方で、新しいものにチャレンジする意義が高まってきているとも言えるのです。皆様は不易流行を意識しながら、新たなコミュニケーションも活用し、積極的に変化し、できることを増やしていただく。皆様にとって実りの多い1年になることを心より願っています。

高千穂祭最高ー!



第57回 高千穂祭・ゼミナール発表会 開催報告

ベストで最優秀賞を受賞しましたー!

3年ぶりにほぼ対面で開催がなかった「高千穂祭」と「ゼミナール発表会」の企画・準備・運営を中心に学内イベントに携わった各委員が2022年を振り返ります

文連フェス 10.15 (SAT) 19:00 START



REFLECT ON 2022



松尾 聡太 (左)
人間科学部
心理・コミュニケーションコース 2年
城山高校出身
岡田ゼミ
2022年度プレゼンコンテスト優秀賞受賞

栗山 素 (右)
人間科学部
心理・コミュニケーションコース 2年
桜町高校出身
岡田ゼミ
2022年度プレゼンコンテスト優秀賞受賞



CONTENTS

FEATURES

- 02 新年のご挨拶
- 05 第57回 高千穂祭・ゼミナール発表会 開催報告
- 16 我が教育を振り返る

REGULARS

- 04 表紙の人
- 08 コース紹介
- 10 高千穂ゼミナール紹介 私のゼミへようこそ!
- 12 高千穂生の就職活動を応援します! 就活サポート 就活体験記&資格取得・オンライン留学体験記
- 14 第27代 学友会本部 新役員紹介
- 15 GRADUATE INTERVIEW
- 19 TAKACHIHO INFORMATION

高千穂大学 父母の会 黎明 56号

表紙の人

2022年度プレゼンコンテスト最優秀賞
受賞の小林ゼミ(経営学部)
「失敗への恐怖班」の皆さん



左から任君、田中君、柴田君

ケンカ、涙…の末に大きな成長がありました
今号はゼミナール発表会で行われたプレゼンコンテストに出場し、見事最優秀賞を受賞した小林ゼミの「失敗への恐怖班」の3人に表紙を飾ってもらいました。田中君、任君、柴田君の3人に対して、ゼミの小林教授からコメントを頂きました。「ゼミ発表、大変お疲れさま。発表内容を振り返ると論理展開は荒削りで先行研究のまともは不十分、企業への応用可能性の考察も全然足りない、修正点は山ほどありますが、2年生でまだ手探りのゼミ活動のなか始まった研究発表にも関わらずみなさんは本当によくがんばりました。思えば、明け方まで発表資料をつくり、夜中にオンラインでディスカッション(という名のガン詰め)し、学校の帰り道でケンカし、研究室で泣き出し、本当につきあっているこちらら大変でしたがその分みなさんは驚くほど大きく成長したと思います。今回の受賞は目的ではなく、単なる通過点。今後はさらに上級生として大きく飛躍してくれることを期待しています。」3人の今後の活躍にご期待ください!!

任 珉善 (左)
経営学部 企業経営コース 2年
甲府商業高校出身
小林ゼミ、高千穂祭実行委員会新委員長

田中 功太 (中央)
経営学部 企業経営コース 2年
我孫子二階堂高校出身
小林ゼミ

柴田 文 (右)
経営学部 企業経営コース 2年
川越東高校出身
小林ゼミ、排球部

ゼミナール連合本部委員長



岩崎 将真
商学部 マーケティングコース 3年
新潟商業高校出身、庄司ゼミ
ゼミナール連合本部委員長、
学友会本部、軟式野球愛好会

今年度のゼミ発表会は当初の予定通り、11月の第1週に5日間かけて開催されました。3年ぶりの対面ということで我々運営側は大変心配ではありましたが、学生・教職員の皆様をはじめとする多くの皆様のご協力により無事終えることができました。ありがとうございます。発表パート数は昨年をやや下回る全134パート（そのうち7パートがブレゼンコンテンツ）ご参加いただきました。授業の多くが対面で開講されていることを踏まえ、今年度の開催方法は原則対面としました。ただ、依然新型コロナウイルス対策を講じた上での開催でしたので、教室は定員の50%という制約がありました。そのため、定員超過を防ぐべく「同期型配信の併用」と、「QRコード用紙による教室定員管理」の2つを講じて対策しました。今年度は2019年度のゼミ発表



岩崎委員長

再始動！
対面でのゼミ発表会

表会を再現することを目標に本部役員共々準備を進めてまいりました。今年度学んだことを活かしながら、よりパワーアップしたゼミ発表会を開催できればと思っております。また、新2・3年生の役員も絶賛募集中です。企画・運営に興味のある方はGmailからお気軽に連絡ください。私たちと一緒に、新しいゼミ発表会を創りあげませんか？

問い合わせ先：
t.zemiren@gmail.com

高千穂祭実行委員長



川村 奏空
商学部 マーケティングコース 3年
千城台高校出身
庄司ゼミ、高千穂祭実行委員長、
学友会本部、軟式野球愛好会

見えたつあった光は今や眩しすぎるものとなり、私たちの生活に「普通」が帰ってきました。第57回高千穂祭は念願の完全対面での開催となり、ようやく「大学生」らしいことを参加して頂いた学生皆さんに経験してもらったことができたのではないのでしょうか。昨年、一昨年とオンラインでの開催となり、私たちは一切「学園祭」というイベントを経験したことがなく、運営やその準備に係る業務全てに不安を抱えながらこの1年間活動してきました。そのよな中でも、対面での高千穂祭の開催！という目標を一緒に目指してきてくれた他の役員や委員には感謝してもしきれません。イベントに関して、3年ぶりの対面開催での最も大きな目標としていたアーティストをお呼びしてのライブも行うことができ、reGreitGierのライブは大成功を収めました。



川村委員長

「新しい」懐かしさ

そして、学術文化団体連合会所属団体が運営する六月祭を「文運フェスタ」という合同イベントとして開催でき、実際にアーティストが使用する音響とステージでの発表を行って頂き、本学の学生活動の周知そしてその華やかさを来場して頂いた皆様にも感じてもらうことができていると思います。第57回高千穂祭の開催は関わってくださった皆様の協力なくしてはできなかったものだと思います。誠にありがとうございました。

学生委員長



染谷 昌義
人間科学部 教授

言いたいことは山(いや宇宙12個、いや界王神界)ほどあるけど、研修会まで取っておきます。黒子局長たちの言葉(学生リレーブログ)でハートブレイク。おつかれさん！「金銭管理の重責で多くの人と協力。苦勞もいっぱい。絶対成功させる。会計 村松」。「協賛企業減で200社NG。でも目標達成。達成感あり 渉外 馬淵」。「アーチ・本部・看板作りを夏休み猛暑で開始。楽しく盛り上がる 資料 田崎」。「知名度上昇ねらい YouTubeガンガン投稿初挑戦(ソウナノ)。素晴らしい学祭を提供したい 広報 岡安」。「最大の最大の最大享楽のため、お笑いトークショウはあえてポツでコンサートを貫く コンサート 長谷川」。「感染予防・衛生管理・レンタル段取り・出店団体へ連絡・店舗点検隊など試行錯誤。人脈作りとコミュニケーション経験アップ 模擬店 長谷川」。「未経験の



期間中積極的に声をかける染谷学生委員長

9月からのペースアップで
全踏破の実行委員
あっぱれ！と言いたい

「曇天の後にやってきた光り輝く太陽のように、心にかかった靄を晴らす「快祭」(川村)で楽しい学祭を精一杯作り(古田)暗いことを忘れる(佐藤)」。
そして、高千穂祭実行委員に猛スピードで追いつく学生課と管財課。まさに三位一体の高千穂祭でした。

教務委員長



庄司 真人
商学部 教授

3年ぶりの対面開催..
ゼミナール発表会開催
報告

本学において最大の学術イベントであるゼミナール発表会が10月31日(月)から11月4日(金)までの5日間、4会場での対面形式にて開催されました。我々教職員にとっては、3年ぶりとなりますが、主に発表する2年生や3年生にとっては初めてとなる対面開催となりました。特にゼミナール連合本部役員にとっては準備から運営に至るまでチャレンジであったかと思えます。参加班数もコロナ前の100前後の発表班から134班と増加した中での実施でした。発表者・聴講者の動線、そして対面で実施する中でもコロナ定員を遵守した運営となるため、事前の準備に役員が奔走される中、何とか発表会も滞りなく進められたものと思っております。もちろん、各ゼミも動画撮影のような何度も撮り直しがきくスタイルとは異なる、対面での発表形式でしたが、準備を万全にした中で報



ゼミナール発表会閉会式にて挨拶をする庄司教務委員長

告が行われていました。本年度のゼミ発表にかかわった学生、教職員の皆様には改めて御礼申し上げます。次年度は、コロナ感染やそのほかの状況を見ながらとなります。学生にとって、大学にとって、この重要なイベントが継続し発展していくことが必要と考えます。ゼミ発表会が終わったその時から2023年度のゼミ発表会の準備が始まります。ぜひ次年度の発表会も楽しみにしていただけたらと存じます。

経営学部 情報コース特集

高千穂大学では、専門性探究のためにコース・専攻別となっています
今回は、経営学部 情報コースを詳しく紹介していきます



研究成果を披露するゼミナール発表会(写真は11月1日の笹金第一ゼミ「SNS班」)

コンピュータ概論 紹介



竹ヶ原 大騎
経営学部 企業経営コース 2年
浦和東高校出身
藤芳ゼミ



AI作成イラスト

情報社会を コンピュータから学ぶ

この授業はコンピュータのハードウェア・ソフトウェアの仕組みとその働きに関する基礎的な知識や技術が学べます。コンピュータの操作方法ではなく、情報化社会への進展に対応していくための授業です。例えば、簡単なプログラミングを学ぶ、モルルス信号を解読する、アルゴリズムの基礎を学ぶといった授業がこれまでありました。成合先生は分かりやすく教えてくれるので、是非受けてみてください！

データベース論 紹介



武部
経営学部 情報コース 3年
雪谷高校出身
笹金ゼミ

AI作成イラスト

データ管理の プロになろう

この授業はOffice系ソフトのAccessを用いてデータを管理する方法を学びます。このソフトは大量のデータを見やすく管理することが可能なので、企業の「在庫管理システム」や「顧客名簿」などに幅広く活用されています。また、これらの情報は企業分析にも応用できるため、企業経営の中核を担っているとも言えます。したがって、データを活用できる企業人を目指す方にはオススメの授業です！

経営情報論 紹介



坂本 彩雪
経営学部 企業経営コース 3年
清瀬高校出身
小林ゼミ



AI作成イラスト

ICT社会で求められる 人材になる第一歩

経営情報論では、情報を正しく理解し活用するための基礎的な分析方法を学びます。大学の施設でPCを使いながら実践的な授業を受けています。PC操作に不安があっても先生が傍で教えてくれるため安心です。分析方法を学ぶことでまた一歩経営学の学びに深みが出て、今までなかった視点から社会を捉えることができるためとても面白いんです。ICT化の世の中で、どの夢に向かっていても役立つ授業です！

ゼミナール (永戸ゼミ) 紹介



山崎 和輝
経営学部 情報コース 3年
練馬高校出身
永戸ゼミ



AI作成イラスト

情報技術について 幅広く学ぶ

永戸ゼミは情報化によって生じる様々な現象について考え、分析することを目的としたゼミです。現在はゼミナール発表会に向けて、ICTとプログラミングを学ぶ2つのチームに分かれ、学生主体で研究活動を行っています。ゼミを通して互いの意見や質問を共有しながら知識を高めることができます。永戸先生は優しく、的確な指摘してくれます。ゼミの雰囲気はとても良く、楽しく学ぶことができます。

本学は開学以来「人格教育」と「実学」を教育の根幹に置いています。「実学」教育への要請は経営の大局的視野を持つ人材を育成するという点では普遍的なものといえるでしょう。その一方で社会・経済環境の変化によって経営学領域だけではなく周辺領域の専門知識・スキルを持つ人材が求められており、中でも経営情報学は経営学の主要な領域と認識されています。ICTによるビジネスプロセス革新、情報システムやIoTを通じて蓄積されるビッグデータの分析による問題発見と解決、情報化に対応する経営戦略・経営組織など、情報化による経営活動の変容は現代経営の大きな特徴となっています。これらを経営学の枠組みから理解し、ICTを経営・組織活動に有効に活用する人材を育成することが情報コースの目的であり、本学の「実学」教育への要請にこたえるものです。

情報コースの目的



経営学部 教授

笹金 光徳

■担当科目
基礎コンピュータ、データベース、専門ゼミ

AI作成イラスト

column
高千穂大学の
情報教育変遷

本学の情報教育は文系大
学としては比較的早い段階の
1980年代初頭から開始され
ました。その後、社会変容に先
駆けて専門科目の追加、高校の
教職養成課程許可を経て、必
修科目以外にも卒業までに6
単位以上の情報科目の単位取
得を必要とする現行カリキュ
ラムが確立されました。最近で
は、2017年度に情報コース
が設置され、2021年度から
は高校の教科「情報Ⅱ」のデー
タサイエンスに対応した教職養
成科目とするために講義内容の
更新・調整が行われました。グ
ローバルなSDGsの潮流、政
府のAI戦略2019などに象
徴されるように、より高度な情
報リテラシーが要求される社会
環境の変化
に応じて今
後も進化を
続けていく
ものと思わ
れます。



経営学部 教授
降旗 徹馬



AI作成イラスト

■担当科目
応用表計算、経営工学、
マルチメディア、専門ゼミ



経営学部 准教授
成合 智子



AI作成イラスト

■担当科目
基礎コンピュータ、コンピュータ概論、
ゼミI



経営学部 助教
中山 景央



AI作成イラスト

■担当科目
生産管理論、経営情報論、
ゼミI、専門ゼミ



経営学部 助教授
永戸 哲也



AI作成イラスト

■担当科目
情報リテラシー、情報社会論、
情報管理論、ゼミI、専門ゼミ

コース設置科目教員

ゼミの年間スケジュール

- 4月 2・3年生は、テキストを輪読します。4年生は、各自の研究テーマを深めます。
- 9月 卒論構想発表会を実施します。
- 10月 ゼミ発表会では、2年生は文献研究の成果について、3年生は調査の研究成果について報告します。
- 12月 2・3年生はミニ論文を執筆、4年生は卒業論文を完成させます。



吉田 知史
経営学部 企業経営コース 4年
二松学舎大学附属高校出身



熊谷 大翔
経営学部 企業経営コース 4年
自由ヶ丘学園高校出身



内 海大
経営学部 企業経営コース 4年
大森高校出身



野澤 尚杜
経営学部 経営法務コース 4年
浦和学院高校出身



志関 陽太
経営学部 経営法務コース 4年
麻布大学附属高校出身



考えています。(内)

現段階では、今後の飲食業界がより良く発展していくための解決策(リーダーシップやマネジメント)を考えています。(内)

「ゆっくり時間をかけて卒論を作成したい」「ゼミ選びに悩んで」「就職活動に力を入れたい」、そんな方は是非葛西ゼミへ。ゼミ生一同お待ちします！

(志関)



ゼミ活動の様子

ゼミナール発表会の1週間前に撮影しました。各班が最終発表を行い、先生がアドバイスをしていました。緊張感がありつつも、先生の優しさが伝わってきました(広報課)。

高千穂ゼミナール紹介

私のゼミへようこそ!



キャリアデザイン

自分が望むキャリアとはどのようなものか?

それを叶えることができるように、みなさんと共に学び、考え、行動していきます

経営学部 教授
葛西 和恵ゼミ

■担当科目
キャリア心理学、キャリアデザイン論、ゼミI、専門ゼミ

■略歴
明治大学 政治経済学部 経済学科 卒業
明治大学大学院 政治経済学研究科 経済学専攻 博士前期課程修了(経済学修士)
2010年4月～2015年3月
法政大学 キャリアデザイン学部 キャリアアドバイザー
2015年4月～2020年3月
中央学院大学 法学部 非常勤講師
2016年4月～2020年3月
尚美学園大学 総合政策学部 兼任講師

■所属学会等
日本キャリア・カウンセリング学会
OD Network Japan
人材育成学会
日本刑事政策研究会
日本矯正教育学会

『ヒト』に着目し、「半歩先立つ進歩性」を目指す

▼ゼミの紹介

こんにちは。葛西ゼミです。
あなたは、「会社の4大経営資源」をご存知ですか。経営の4大資源は、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」と呼ばれており、この4つは、会社が経営を行う際に特に重要な資源です。当ゼミでは、その中の1つである「ヒト」に着目し、調査・研究をしています。

たとえば、「キャリアデザイン」と呼ばれる、自分がどのような働き方をしたいのか、また、どのような生き方をしたいのか、という将来の展望を定めて、その上でその展望の実現のためにどのように考え行動していくかといった研究も、当ゼミにおいての重要なテーマの1つです。
また、「人材育成」も研究テーマの

1つです。人の上に立つた際に、どのようなサポートをすれば良いのか。どうすれば会社に貢献できる人材を育てることができるのか。学生時代にそういったことを考えることはまず無いかとは思いますが、大学でそういった学問に触れることで、将来社会人になった際に、必ずやその学びが活きるでしょう。

他にも「ワーク・ライフ・バランス」や「モチベーション」など、研究領域は多岐にわたります。

ゼミ内では主にグループワークやディスカッションを行い、意見交換を通じて学習を進めます。また、個人で興味のある分野のレポートやレジュメを作成し、発表を行うこともあります。
(吉田)

▼ゼミを選んだ理由

アルバイト先でリーダーシップをとるのが上手な方がおり、今の日本ではどういったリーダーシップをとる人が賞賛されるのか気になりました。葛西先生のもとでは、こういった内容がより詳しく勉強できるため、このゼミを選択しました。(熊谷)

▼現在の研究内容

私たちは現在、マネジメントや人材育成、人材教育、リーダーシップなどに焦点を定め各々研究しています。
その中で私は、飲食店従業員の離職率に着目し研究しています。

飲食店従業員の離職率が高いのは、マネージャーや店長(リーダー)がしっかりとしたリーダーシップをとっていないからだと言説を立てました。現段階では、今後の飲食業界がより良く発展していくための解決策(リーダーシップやマネジメント)を考えています。(内)

▼先生の人柄

私達の先生は本学でキャリアデザインを教授しており、ゼミ発表会や卒論以外にもキャリアの相談にも乗ってくださいます。分からない事があっても共に考え、丁寧に教えて頂けます。
(野澤)

▼ゼミのPR

ゼミでは葛西先生の専攻である「キャリア」を中心に、グループワークやディスカッションを通じて、学年分け隔てなく学んでいきます。
また2・3年生から各々自由に研究テーマを設定し、卒業論文を少しずつ作成し始めます。4年生では就職活動を優先しながら、1年をかけて卒論を完成させます。そのため、計画的にじっくり卒論に取り組みますよ!

「ゆっくり時間をかけて卒論を作成したい」「ゼミ選びに悩んで」「就職活動に力を入れたい」、そんな方は是非葛西ゼミへ。ゼミ生一同お待ちします！

(志関)

本学の就職支援

2024年卒の就職活動も本格的にスタートし、既にインターンシップに参加した学生は早期選考が始まっております。

今年度は就職支援行事も一部を除き2年ぶりに対面で開催してきました。5月と11月に実施した3年生対象の進路相談会も、感染対策を講じながら直接向かい合って個別に面談したことでオンライン開催時よりも多くの学生が参加し、学生との距離も縮まりました。

オンライン開催も利便性などメリットもございますが、対面実施の場合には周囲に自身と同じ状況の学生がいるため、緊張感・集中力が生まれ、より就職活動に対する意識が高まっているように感じました。

また、4年生向けの企業説明会も全て対面で実施したことで学生側・企業側双方がより理解が深まり、説明会から選考に進んだ学生が多く見受けられ、学内での企業説明会から内定に繋がった学生も多くおりました。

そのため、今後も感染対策を講じつつ可能な限り対面での就職支援・行事開催に努めていきたいと思います。

今後、3年生対象の面接トレーニングや企業研究セミナーなど就職支援行事を予定しております。本学と関わりの深い企業の方と出会える貴重な機会ですので、3年生の皆さんは是非参加してください。個別の面談や書類の添削、面接練習なども随時受け付けておりますので、就職支援課も積極的にご利用ください。お待ちしております。



3年生キャリアガイダンス



3年生進路相談会



4年生学内企業説明会

2022年度 就職支援行事スケジュール

日時	行事名	内容
1月17日(火) 10:00~15:30	企業研究セミナー	本学と関わりの深い企業を中心に招聘し、企業との出会いの場を提供します
2月7日(火) 10:40~12:10	面接対策講座	企業の採用担当者から、採用のポイントをディスカッション形式でお聞きします
2月7日(火) 13:30~15:30	模擬面接	企業の採用担当者と面接練習を行い、アドバイスをいただきます
2月10日(金) 13:00~15:30	企業研究セミナー	本学と関わりの深い企業を中心に招聘し、企業との出会いの場を提供します
2月20日(月)・21日(火)	就職活動直前対策	就職活動直前に必要なセミナーや実践講座を複数日程に渡って行います

※行事は今後変更になる可能性があります。



柏倉 彩乃
経営学部 企業経営コース 4年
芦花高校出身
竹内慶司ゼミ

不安解消には早めに行動・相談を!

内定先

東京コンピュータサービス株式会社

就職活動における不安は早めの行動と就職支援課に相談することで解消しました。

私は2年の冬から筆記試験対策を始め、3年の6月からはセミナーやインターンシップに参加していました。それでも生まれる不安の解消や、エントリーシート添削、面接対策には就職支援課の力を借りていました。

おかげで4月中旬には3社から内定を頂き、納得して就職活動を終えることができました。

皆さんも困った時こそ行動、就職支援課へ相談をしてみてください。きっと道が開けていきます。



今城 航輝
商学部
マーケティングコース 4年
中央国際高校出身
齋藤典晃ゼミ

時には息抜きも必要

内定先

株式会社JR東日本ステーションサービス

就職活動は思っている以上にエネルギーが必要です。就職活動を進めていくうちにこのままでいいのだろうか……といった不安に襲われることも少なくありませんでした。そんなときは一度立ち止まってリラックスしてください。就職支援課で話をするのもいいですし、様々なリラックス方法があると思います。私は熱海の温泉で湯浴みをしながら企業のエントリーシートを書いたりもしました。慕進するのも良いですが、たまに立ち止まることでより良い就職活動が続けられると思います!

就活体験記&資格取得・オンライン留学体験記

私がオンライン留学を志望した理由は、グローバル化が進み様々な国の人と関わる機会が増えているため英語力を向上させたいと思ったからです。留学中、英語で自分の意思を伝えるには難しい場面がありました。そこで、ジェスチャーで相手に意思が伝わるよう努力したことで意思を伝えること、コミュニケーションをとることの大切さを学ぶことができました。留学は英語力だけでなく様々なことが身につきます。自分の人生にプラスとなるためぜひ挑戦してみてください。

留学先

オンライン留学参加(ビクトリア大学短期) 2022年8月1日~26日

身についたのは英語だけじゃない



黒崎 歴
経営学部 企業経営コース 3年
柏崎常盤高校出身
舟木ゼミ

3年生から一般企業への就職活動を行うために2年生のうち資格を取りたいと考えており、職種にこだわらず幅広く活用できると思いこの2つの資格を取りました。課外講座を受講していたため講座を受けている間は忙しかったですが共に短期集中型のため試験に出やすい部分や間違いやすい部分など知ることができ、試験にも万全の準備で臨めました。両方とも課外講座を受けて過去問を2・3回行えば取れる資格なのでこれから取りたい人は積極的に取ることをお勧めします。

資格

秘書検定2級、マイクロソフトオフィススペシャリスト(Word/Excel) 取得

就活に必須の2資格に集中しました



望月 沙織
人間科学部
心理・コミュニケーションコース 2年
横浜商科大学高校出身、立石ゼミ
学術文化団体連合会本部、漫画研究会

学友会本部 新役員紹介

新会長の抱負 ▼ 節目の年 さらなる飛躍を



岩崎 将真
商学部
マーケティングコース 3年
新潟商業高校出身

この度、第27代学友会会長に就任いたしました岩崎将真です。今年の学友会の活動を振り返りますと、4月に対面とオンライン同時配信で実施した新人生フェスタや約30年振りとも言われるクラブハウス棟の大規模清掃など様々な活動を行ってまいりました。また、地域連携として地元自治会の秋祭りに協力するなどの活動も行いました。今後はウイズコロナ時代を生き抜いた

めにも、クラブ活動なども盛り上げていく必要があると思われれます。コロナ禍は何のために学生生活を送り、クラブ活動を行うのか見直すきっかけを与えてくれたと考えております。また2023年度は本学園創立120周年という記念すべき年でもあります。そのような記念すべき年を盛り上げていけるよう、役員一同精一杯活動してまいりますので何卒よろしく願います。

前会長挨拶

1年間の振り返りと 新体制へ応援メッセージ

私たち26代学友会は、10月25日に行われた秋学期学友会総会をもって任期を終了しました。新会長として登壇した一年前、不安感しかなかったあの時からあつという間にここまで来ました。27代の役員の方々には、私たちができたことやできなかったことを引き継いで、よりよい活動をしてほしいと思います。今現在、役員同士、顔も名前も知らないような人達がいることに不安を抱えているかもしれません。ですがこれから紆余曲折を経て、1年後の27代学友会の皆さんが、活動を成し遂げた達成感に包まれていることを期待しています。



細越 莉奈
人間科学部
心理・コミュニケーションコース 4年
羽生第一高校出身、染谷ゼミ

▼ 第27代 学友会副会長・局長

書記局長 大島 怜慈 商学部 マーケティングコース 3年 高島高校出身	広報局長 佐々木 洸音 経営学部 企業経営コース 2年 拜島高校出身	会計監査局長 庵原 明日香 商学部 会計コース 2年 高木学園女子高校出身	会計局長 上村 駿介 経営学部 起業・事業承継コース 2年 相原高校出身	企画局長 田崎 敦也 経営学部 起業・事業承継コース 3年 横浜南陵高校出身	副会長 川村 奏空 商学部 マーケティングコース 3年 千城台高校出身

▼ 第27代 学友会役員

会計局 丸田 航祐 商学部 商学科 1年 京華商業高校出身	会計局 原口 純一 商学部 マーケティングコース 2年 東京農業大学第一高校出身	企画局 任 珉善 経営学部 企業経営コース 2年 甲府商業高校出身	企画局 片桐 康太 商学部 マーケティングコース 2年 城西大学附属城西高校出身	企画局 田中 功太 経営学部 企業経営コース 2年 我孫子二階堂高校出身	企画局 大谷 梨々花 商学部 マーケティングコース 3年 大宮商業高校出身	企画局 神代 裕一郎 人間科学部 社会・ライフデザインコース 3年 津田沼高校出身
書記局 古田 萌華 経営学部 企業経営コース 3年 成瀬高校出身	書記局 藤田 玲音 商学部 マーケティングコース 2年 NHK学園高校出身	広報局 市川 文野 経営学部 経営学科 1年 山脇学園高校出身	広報局 常光 美帆 経営学部 経営学科 1年 草加東高校出身	会計監査局 小島 莉那 商学部 マーケティングコース 2年 草加南高校出身	会計監査局 伊藤 汐里 人間科学部 心理・コミュニケーションコース 2年 開智日本橋学園高校出身	会計監査局 村松 稜介 経営学部 企業経営コース 3年 横浜翠陵高校出身



Profile
MR GYM(エムアールジム)
代表 兼 トレーナー
1994年3月 商学部卒業 国田ゼミ
体育会、柔道部
松尾 隆太郎

1年間の浪人生活の末に唯一合格した高千穂商科大学を卒業して30年程になります。その浪人時代になんとなく始めたボディビル(筋トレ)が、今や自分の仕事になっていることに人生の機微を感じます。

私の学生生活は、学業や部活動に打ち込む訳でもなく、漠然と過ごしていたように思います。そんな中で、筋トレだけは自分の性に合っていたのか、マイペースにコツコツと続けていました。一応柔道部にも所属していましたが、自分でボディビル同好会を立ち上

げ、学生のボディビル大会に出場したのは懐かしい思い出です。就職の際も特にやりたい仕事があるわけがなく、ボディビル競技を続けるには民間よりも公務員の方がいいだろうと考えて、たまたま合格した松戸市消防局に入りました。仕事をしながらボディビル競技を続けるのは大変でしたが、少しずつ実績を積み上げていき38歳の時に東アジア大会で優勝しました。そして今から3年前の49歳で消防を辞めて千葉県柏市にてトレーニングジムの経営及びトレーナー

生きていれば 何とかなるさ

GRADUATE INTERVIEW

さまざまな分野で活躍している卒業生の先輩達の“今”をお届けます

OB MATSUO RYUTARO

ボディビル界では輝かしい実績を残し、外柔内剛の柔道人でもある松尾さん。その爽やかな性格ゆえに柔道部OB・OGばかりでなく、誰からも慕われる人柄がジムの経営者としても成功している所以です。

TOPICS

松尾さんは、2022年12月3日(土)に東京・品川インターシティホールで開催されたゴールドジムJAPAN CUP ボディビルマスターズの部で見事優勝され、Yahooニュースにも掲載されるなど、話題となりました!



ジムで使用されている機器



松尾さんが経営しているジム

我が教育を振り返る

TAKACHIHO
history

1

ワーク・ライフ・バランスの実践

本学において、学部での「経営管理論」、専門ゼミナール、大学院修士・博士課程における講義・研究指導を2011年から12年間担当してきた。私が、微力ながら高千穂学園に貢献できたと思うことは、数多くの学部ゼミナール生が集まってくれたこと、そして日本だけではなく中国・ベトナムから多くの留学生が私の大学院研究室で学び、修士号・博士号を取得してくれたことである。現代における大学教員、研究者の役割は多様化してきたが、これこそ原点と考える。

また、大学行政に多少関わり、お役に立てたと思われることは、総合研究所所長として日産自動車本社マーケティング担当部長や本学が大変お世話になっている浜田山病院院長をお招きして、2回研究大会を開催したことである。本学に勤務する以前より親しくさせていた日産自動車元部長・貴田晃氏、浜田山病院・小瀬忠男院長ならびに当時の総合研究所業務に関わった教職員の方々に御礼を申し上げます。

そして、ゼミナール・大学院研究室の思い出としては、次の3つがあげられる。男女を区別する時代ではないが、

経営学部
教授
藤芳 明人



ご専門のマネジメントの研究を通して、将来リーダーになる人材の育成に努めておられました。特に大学院修士課程においては多くの留学生への熱心な指導が定評でした。

私のゼミナール1期生の女性ゼミ生の結婚式・披露宴に家内共々出席したこと。個人的な妻との旅行でベトナムへ行った時の教え子との再会や、日本の大学院生との会食、そしてゼミナール生の中に、オープンキャンパスに来た時に藤芳先生からの話を聞き、入学した当初から専門ゼミは決めていた、と言ってくれたこと、嬉しいことである。

さて、2024年4月からは客員教授として、3・4年併せて100名近く在籍している学部ゼミ生ならびに修士・博士の大学院生への指導のため来校する。しかしながら、65歳で2023年3月に定年退職するので、テーマを「我が教育」から「大学における我が人生」へ少し拡大したい。1985年から38年間、高千穂大学を最後に4校に専任として勤務した、感謝申し上げる。私の母校は高校・大学と7年間お世話になった慶應義塾であるが、指導教授としては青山学院大学名誉教授・徳重宏二郎先生に御指導いただいた。また、すでに亡くなっているが、私の家族内指導教授であり、ゴルフ仲間でもあった父・明治大学名誉教授・藤芳誠一先生、ならびに研究仲間として明星大学で活躍されている谷井良教授、

私の単著2冊の出版にご尽力いただいた学文社・田中千津子社長、以上の方々に御礼の気持ちを伝えたい。そして今までの人生を支えてきてくれた妻と3人の娘達に対しても感謝を伝えたい。ところで仕事は重要であるが、人生は仕事のためだけにあってはならず、個人や家族との時間、自分の人生そのものを大切にしながら仕事をする「ワーク・ライフ・バランス」を、私は教員生活開始以来、継続して実践してきたのであり、大変充実した38年間であった。私の趣味は、海外旅行、腕時計収集、ゴルフ、スポーツジム、自動車であるが、大好きなハワイへは40回以上出かけている。家族とも旅行や学校行事で多くの素晴らしい思い出を得ることができた。大変幸せなことである。それと同時に、研究者として共著14冊に関わり、単著2冊を出版させていただき、充実感を得ることができた。

今後の高千穂学園での客員教授や新たな仕事を試みながら、もうしばらく「ワーク・ライフ・バランス」を継続できればと考えている。学生諸君の今後の充実した人生を祈念し、高千穂大学の教職員皆様方に感謝を申し上げ、本稿の結びとする。



我が教育を振り返る

TAKACHIHO
history

2

大学での思い出の研究

高千穂大学に在職して何年になるか数えたことはない。思えば永く勤めたものだと思いつつ来し方を振り返れば、多くの学生に出会い共に考え共に語り互いを鼓舞しあったことを思い出す。学生たちはそれぞれの判断で行く道を決めて行ったことは慶賀の至りである。その途中で自分は何をしてきたかなどというのを振り返ったことはなかった。退職にあたり、これまでの主たる3つの研究（ものはどうして見えるように見えるのか）について少し説明をしたいと思う。初めに、図1にあるようにこれまでになかった月の錯視（月に叢雲の錯視）を発見した。普通の月の錯視は古代ギリシア時代から述べられているが、「月に叢雲の錯視」は未発見であった。その見え方は野分の頃に満月の前を雲（高積雲）が通過すると満月が雲の前に現れる現象（錯視）が生じる。おそらく人類初の発見ではないかと思われる。これまで誰も気づかなかった錯視である。そのほか、雲の進行方向の反対に満月が回転するように見える。また平面のよ

人間科学部
教授
菅野 理樹夫



1996年より26年間ご活躍され、ご専門の心理学を中心に幅広い学識を伝授されました。直近では、学術研究機関である総合研究所長やアジア研究交流センター長を歴任されました。

うに見えた満月が雲の通過によって立体的な球状に見える錯視が生じることも同時に発見した。条件さえよければこれらの月に叢雲の錯視を誰でも見ることができると考えた。このように見えるのはなぜかについて考えた。解りやすく言えば雲という背景（構造的な発想者、レヴィ・ストロースが構造と呼んだことと同義である）が生じるとこの錯視が出現することを発見した。背景は見る対象の後ろにあっても前にあっても背景である。それはその時の付帯状況によって実際とは異なる見方が生じることを示している。レヴィ・ストロースはこの構造的発想を思想ではなくものの認識の方法と捉えている。その原点はアルブレヒト・デュラーの絵画法に由来していると述懐している。二つ目は、図2、3にあるように見方を変えると見ているものの意味が異なる錯視が生じる。図2を正面から見るとピラミッドを真上から見た図が横並びになり、その間にそろばんの玉のような図形が並んでいるように見える（多義図形）。この図形の見方を変

えて横から眼の高さで観察するとつながった六本の線の上にそろばんの玉がいくつも連なって見える錯視が生じる。この錯視は連なった六本の線が背景になりその上に意味のある形が生じることを示している。人間のものの見方には背景の役割が重要であることを示している。三つめは、図4にあるように平面な床絵（イタリア、シエナ大聖堂の床面/600年以上前）を観察すると二種類の階段に見える。一つは左方向を向いている白いステップの階段が奥まで続いている。暫くすると茶色のステップの階段（右向き）に見える錯視である。このことは見ているものの背景が不確かなときにはいくつかの錯視が生じることを示している。これらの錯視現象はこれまで知られていない。さらにものを見ることにはその取り巻く背景が重要な役割を演じていることが判った。詳細は拙著、「見るちから／北樹出版」を一読願います。自由に研究をすることができ、大きな成果を上げることが出来たことに高千穂大学に心から感謝を申し上げます。

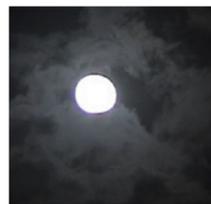


図1 月に叢雲の錯視

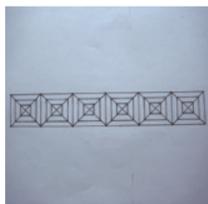


図2 傾ける錯視a



図3 傾ける錯視b



図4 階段錯視

出典:菅野理樹夫(2012)「見るちから」増補版 北樹出版

TAKACHIHO INFORMATION

2022年10月14日～16日

第57回高千穂祭を開催

今年は3年ぶりの対面開催、実行委員は企画から運営まで初体験でした。それ故に達成感は大きかったようです。緑日、ジャングル迷路、reGretGirlのライブ等に文連フェスタ(六月祭)も同時開催しました。入場者約1,700名、ありがとうございました。

(芸音楽)
1位 ダンス同好会
2位 簿記会計研究会
3位 軽音楽研究会

(ポスター部門)
1位 漫画研究会
2位 簿記会計研究会
3位 軽音楽研究会

2022年10月31日～11月4日

2022年度ゼミナール発表会を開催

教室のコロナ定員を考慮して、4教室での開催とZoomによるリアルタイム配信を行いました。通常発表に127班、プレゼンコンテストに7班が参加しました。プレゼンコンテストの最優秀賞は経営学部小林第一ゼミナールの失敗への恐怖班(失敗への恐怖に対する解決方法と対処法)、優秀賞は人間科学部岡田第一ゼミナールのプロパガンダ班(戦争プロパガンダ2022)となりました。



2022年9月27日～12月20日

経営学特別講義B

一般社団法人全国スーパーマーケット協会による第14回寄附講座が開催されました。講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで行われ、3年ぶりの開催に多くの区民の方が聴講に訪れました。



落合務シェフ(東京・銀座ラ・ペットラ・オチアイのオーナーシェフ。現・日本イタリア料理協会名誉会長)による講演

2022年9月～12月

2022年秋季 クラブ・サークル活動報告

各部の2022年秋季リーグ戦の結果は以下の通りでした。
硬式野球部は秋季リーグ戦2部において5勝5敗で順位は2位、2部残留、卓球部は関東学生卓球リーグ戦 男子5部Bブロックにおいて1勝4敗で順位は5位、5部残留、アメリカンフットボール部は関東学生アメリカンフットボール連盟リーグ戦3部Bリーグにおいて1勝3敗で順位は4位、3部残留が決定しました。

2022年9月28日

登戸総合グラウンドクラブハウスの棟上式

2022年9月28日(水)午前10時より、登戸総合グラウンドクラブハウスの棟上式が株式会社佐藤総合計画・細田雅春社長、松井建設株式会社・小林明取締役専務執行役員、高千穂学園・藤井耐理事長ほか関係者が出席し執り行われました。登戸グラウンドクラブハウスは築52年を経過しているため、現在の耐震基準を満たし、より安全・快適な施設とするために建て替えることとなりました。鉄骨造・2階建て、完成予定は2023年6月末となっております。尚、原材料価格等の高騰により、総工費は2億2千万円となる予定です。



我が教育を振り返る

TAKACHIHO history

3

教師は未来を創造する仕事 児童生徒学生達との出会いに感謝

2018年4月2日、藤井理事長より辞令を拝受し、教師を目指す学生達と共に、新たな大学教員がスタートしました。これまでの小学校現場では「児童のより良い人格形成」を目標としていましたが、高千穂大学では「より良い先生を育てる」ことが目標です。私の授業を受講した大学生が将来の先生になり、その先に受け持つ子ども達にも影響が及ぶという重要な役割が任せられることとなります。教師一人が生涯に担任する児童は700人。高千穂大学生が10人教師になれば7000人。20人教師になれば14000人の子ども達と出会うこととなります。これはとても重大な役割です。

教職課程の授業を通して

私が主に授業として受け持つのは「教師論」「教職実践演習」「教職インターンシップ」と「専門ゼミ」です。まず、感心したのはどの授業もとても熱心に取り組んでくれることです。例えば、個人の発言やグループ討議でも「自分の言葉で答える」「討論もしつかり行える」「自らの体験も臆せず話してくれる」など積極的に授業参加し



人間科学部
教授

山田 良一

小学校の校長職等35年間の教師生活での実体験を授業に活かし、児童や生徒たちと触れ合う機会を設ける等、教員を目指す学生たちへ熱心に指導されておられました。

てくれます。親和的な雰囲気は私自身、大いに助けられました。

「教職実践演習」は教職課程最後の講義です。授業を終えて3か月後の4月には教壇に立ち、児童生徒を前にするのです。当然、初めて出会う児童に自分らしい自己紹介も必要になります。その後にある参観日では保護者にも自分の教育観や子ども達への成長の期待等を話すのです。ベテランの先生も新任の先生も同じ条件です。そこで、「教職実践演習」では主に教育現場にある課題に焦点をあて、「いじめの問題」「不登校児童の理解」「非行などの問題行動対処」をテーマに現場で役立つスキルに重点を置き実践的な授業を心掛けています。「子ども達は誰もが学びたい、より良くなりたい」と願っています。悪くなりたくないと思っ

子どもは一人もいないのです。だからこそ「真に子どもに寄り添う教師とは何か」をいつも問い続けられる教師になつてほしいと願っています。教師の姿勢が子ども達の未来を創るからです。教師の働き方改革

昨日、教師人気が陰りが見え始め、

年々、教師を希望する学生が減少しています。この背景にあるのは「保護者対応、部活動、授業準備、生活指導と多岐にわたる教師の仕事の多忙さのマイナスのイメージ」があるからです。

しかし、一方で、プラスのイメージがあまり知られていません。「先生をしてよかったと思う点は」と現役教師に質問をしますと、どの先生から返ってくる答えは「子どもの成長を実感できる」という言葉が返ってきます。さらに、「子どもの笑顔」が日々の活力です。勉強が分かる喜び、できなかったことができるようになった喜び、それを目の当たりにすることは、正に教師冥利に尽きます。

教師の仕事は子ども達の将来をも楽しみにすることができます。いつの日か高千穂大学の学生の皆さんに会った時に立派に成長している姿を楽しみにしています。

高千穂大学で出会った全ての人に心より感謝申し上げます。

TOPICS

高千穂学園は2023年5月27日に創立120周年を迎えます。

2022年4月より大学の公式ウェブサイトがレスポンス対応(ご利用の端末に合わせた表示)となりました。ぜひご覧ください。

ご意見・ご要望などを募集します

高千穂大学・広報誌(Quarterly TAKACHIHO)をご覧いただきまして誠にありがとうございます。広報課では皆さんからご意見やご要望などを募集しております。お気軽にメールにてお知らせください。お待ちしております。

連絡先メールアドレス
koho@takachiho.ac.jp

Quarterly TAKACHIHO

[クォーターリー 高千穂]
Winter/2023 vol.90



バックナンバーはこちら

- 編集長 渡邊 均
- 委員 坂田 利康

●編集・印刷 orange corporation

クォーターリー高千穂設置場所
図書館(1階)、3号館(1階)、4号館(1・2階)、情報メディアセンター、CS(1・2・3・4階)

高千穂大学ソーシャルメディア公式アカウント

大学の最新情報が分かる！
公式アカウントをフォローしよう!!

facebook



twitter





父母懇談会開催報告

9月11日(日)、父母懇談会が3年ぶりに東京会場(高千穂大学)で開催され、80名の保護者に対面でご出席いただきました。また、後日オンラインにて当日の様子を配信いたしました。

父母懇談会の様子

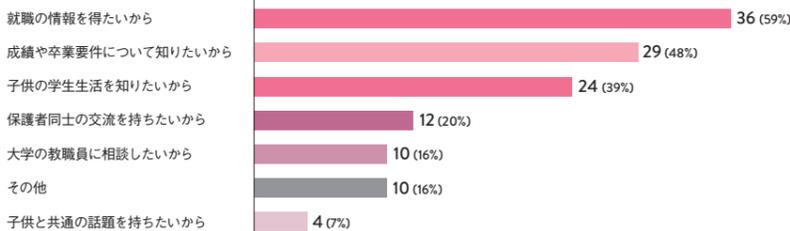
はじめに「支部会」で、同じ大学に通う保護者同士で交流を深めていただきました。その後、「卒業要件、成績表の見方等の教務に関する説明」「就職支援についての説明」、各学部の4年生3名による「就職活動体験報告」を実施し、希望者には「教職員との個別相談」を行いました。対面で参加者された方には、「春学期授業出欠状況」をお渡ししました。



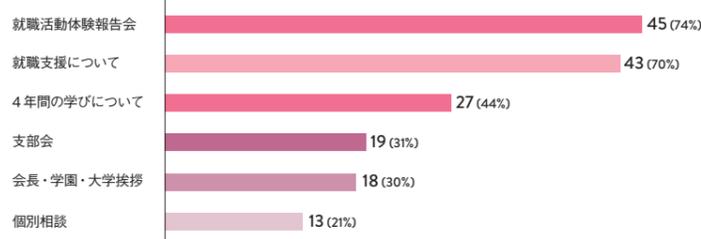
アンケートの結果

当日対面でご参加いただいた方にアンケートにご協力いただきました。

父母懇談会に参加された理由は何ですか？(複数回答可)



父母懇談会に参加してみてよかった内容は何ですか？(複数回答可)



- 4年生3人の就職活動体験報告会がとてよかったです。
- 理事長先生や学長先生のお話が聞けてよかったです。
- 支部会で、保護者同士で意見交換ができてよかったです。
- 色々と相談にのっていただき、問題が解決できました。
- とても充実した内容で時間が足りなく思えました。
- 支部会で、他の保護者からのアドバイスが聞けてとても参考になりました。
- 丁寧な説明で現在の就職状況や今後の課題など貴重な話を聞くことができました。

父母懇談会に参加された方の感想

郷土企画実施報告

父母の会の16支部が、学生の食生活の手助けにと、ご当地の名産品を昼食時に無料で提供しています。全国から通う学生に、故郷の美味しい便りを届ける企画です。

父母の会人気企画の「郷土企画」が3年ぶりに開催され、父母の会役員より学生に郷土品を配布しました。

月	日	曜日	支部	商品	数量
6	17	金	九州ブロック支部	サーターアンダギー(プレーン、黒糖、紅芋、カボチャ、塩ゴマ、チョコ、チーズ、モカ)	1200個
10	6	木	千葉県支部	びわゼリー・銚子電鉄ぬれ煎餅(甘口、うす口)	びわゼリー 504個 煎餅500枚
10	28	金	埼玉県支部	川越浪漫・喜多のかけ橋	250個ずつ
11	17	木	神奈川県支部	鳩サブレー	500枚
12	9	金	東京都支部	酒種あんぱん5種(桜、小倉、けし、うぐいす、白)	500個



報告

埼玉県支部 「喜多のかけ橋」「川越浪漫」

埼玉県支部長 城山 あい

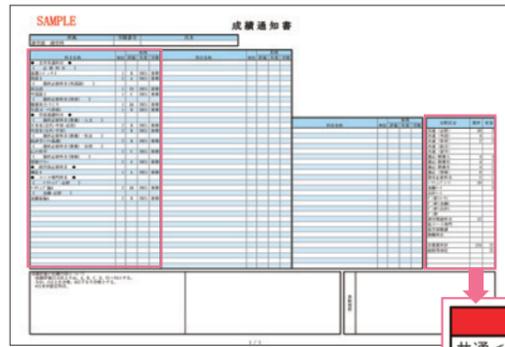
ただけるよう趣向を凝らしております。今後も郷土企画を継続していきけるよう父母の会一丸となって取り組んでまいります。

10月28日(金)、埼玉県支部より創業明治20年の川越市に本店を置く老舗和菓子店「くらづくり本舗」の「喜多のかけ橋」と「川越浪漫」(どちらかひとつ)を提供させていただきました。郷土企画は3年ぶりの開催であり且つ、埼玉県支部からの提供は数年期間があったこともあり学生さんに喜んでいただけたものと、リスタートの気持ちで娘の意見も参考にしつつ2種類のお菓子をさせていただきました。対面とオンラインでの授業の中、コロナ前より来校している学生さんが少ないかなと思いましたが、どちらにしようか？悩みながら選んでいる姿に少しずつ賑わいを取り戻しつつあるのかなと感じました。食べた学生さんから「おいしかった」との声もいただき大盛況でした。各支部、学生のみなさんに喜んでい



成績通知書の見方について

※ご注意
本誌面では、商学部金融コースを例（ダミー）として説明いたします。学部、コースにより「分野区分」の名称、「要件」欄の数字、その他条件等異なりますのでご了承下さい。なお、限られた誌面では、個別具体例の全てを説明することはできません。つきましては、成績通知書をお手元に届きましたら必ず「履修要項」の該当ページ又は以下のQRコードのリンク先ととも、ぜひ電子版、ご子女ともじっくりと確認いただきますようお願いいたします。



分野区分	要件	有効	
共通<必修>	10	10	全学共通科目 (必修)
共通<外国>	4	3	全学共通科目 (選択必修) 外国語科目
共通<体育>	2	2	全学共通科目 (選択必修) 体育科目
共通<総合>			全学共通科目 (選択必修) 総合科目
共通<留学>			全学共通科目 (選択必修) 留学生科目
選必<教養人文領域>	4	6	商学部/経営学部/人間科学部 基礎科目 (選択必修)
選必<教養社会領域>	4	6	
選必<教養自然領域>	4	6	
選必<情報科目>	8	6	
商学必修科目	2	2	商学部必修科目
マーケティングコース		16	他コース専門科目
金融コース	28	30	金融コース専門科目
会計コース		4	他コース専門科目
ゼミ群 (マーク)			商学部関連科目
ゼミ群 (金融)		8	
ゼミ群 (会計)			
ゼミ群			
商学関連科目	12	10	商学部関連科目
他コース専門			他学部聴講科目
他学部聴講		4	
教職科目			
卒業要件計	124	113	
総取得単位		113	

※学部により表示内容が異なりますが、卒業要件の区分との見方は同一です。

2022年度秋学期の授業も残り約1ヶ月となりました。3月上旬には保護者の皆様にも成績通知書を送付いたします。そこで、今号では、成績通知書と卒業要件の見方について、教務課よりご説明いたします。

まず、上の成績通知書の右端の拡大部分をご覧ください。

表頭の「分野区分(赤)」は卒業要件表の区分です(表の欄外「卒業要件表の区分(参照)」。例えば、「共通(必修)」は卒業要件表の区分欄「全学共通科目(必修)」の意味です。「要件(青)」欄は卒業要件表の「合計必要単位」です。「有効(緑)」欄の数字は、学生本人が修得した単位数となります。以下同様に「要件」欄と「有効」欄の数字を比較し、「要件」欄より

各学部の卒業要件

商学部

経営学部

人間科学部

参考:
本学ホームページ「大学案内」→「情報公開」→「II-4学修の成果に
係る評価及び卒業又は修了の認定に
当たっての基準」または履修要項の
各学部の「卒業要件」のページ

も「有効」欄が少ない場合は修得単位が不足していることを意味します。学年の進級に伴い、「有効」欄の数字が「要件」欄の数字に近く(超える場合もあり)なるのが一般的です。

本例は、商学部金融コースの学生です。表頭の「分野区分」の「金融コース」の「要件」欄の28単位が必要最低限の単位数で、「有効」欄が30単位です。要件を満たしているということになります。ここで注意すべき点として、「要件」欄に記載の単位数には必ず単位修得しなければならぬ科目が含まれる場合があります。金融コース専門科目では「金融総論A/B(合計4単位)」です。これは右記QRコード等の「卒業要件」で個別に確認し、成績通知書の個別科目で確認して下さい。

なお、分野区分の「会計コース」の

「要件」欄には単位数が記載されていませんが「有効」欄が4単位となっています。この分野区分は卒業要件として設定されていませんが、本人の意思で会計コースの科目の4単位を修得し、4単位すべてが卒業単位として「有効」であるという事を意味します(「有効」となる単位数は制限があります)。

最後に、「要件」欄の単位数は実際の合計は78ですが、「卒業要件計(黄)」は124と表記されています。これに対して「有効」欄の合計は113ですから卒業要件単位に対して、現在、11単位が不足していることを意味します。また、「有効」欄の「卒業要件計」と「総取得単位」の単位数が異なる場合がありますが、これは教職課程履修者の場合や「分野区分」欄の個別区分で制度上の卒業認定単位の上限を超えている場合等のためです。

この成績通知書の例の学生は、「要件」欄に満たない「分野区分」(具体的には、「共通(外国)」の1単位不足)は単位修得済み)などを中心として単位修得できるよう履修登録をし、単位を修得することとなります。

開催報告

「新入生保護者オリエンテーション」開催日時・2022年6月18日(土)

新入生保護者を対象にオリエンテーションを開催し、49名が対面で参加されました。支部会では同じ大学に通う保護者同士で意見交換をし合い、午後からの全体会では理事長より大学の近況報告、教務委員長より大学の授業履修の仕組みや成績表の見方などの説明がありました。その後の個別相談(希望制)では、親としての学生生活の疑問や不安について熱心に相談されていました。参加された保護者からは、「アットホームで大変面倒見の良い大学という印象を受けました。有意義な時間がありました。ありがとうございました。」「大学のことがよくわかり、参加してよかったです。」などと感想をいただきました。また後日、当日の様相を動画にて配信しました。



大学祭支援

「高千穂祭金券配布」

2年間オンラインで開催された高千穂祭が、今年度は対面で開催されました。父母の会では、大学祭を盛り上げることを目的として、模擬店を使用できる金券(一人あたり500円)を、父母の会役員の方々に協力いただき、在学生に配布しました。



父母の会からのお知らせ

開催予定 「2年生保護者対象「就職ガイダンス」」

場所・高千穂大学

父母の会では、毎年3月に2年生保護者向け就職ガイダンスを実施しております。これは3年生になり、すぐにインターシップ活動が始まることへの準備をしていただくことを主な目的としております。詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします。



父母の会 役員募集について

父母の会では一緒に活動して下さる役員を募集しています。主な活動は年数回の各行事の受付等のお手伝い、支部会の開催などです。高校までのPTAとは異なり、各種資料や発行物の作成など事務的な仕事は一切ありません。

一緒に活動する保護者から学生生活や就活など心配なことについて学年、学部をこえて情報交換ができます。参加したい、興味がある、詳しく説明が聞きたい、その他お問い合わせ等ございましたら、高千穂大学父母の会事務局までご連絡ください。



TOPICS

高千穂学園は2023年5月27日に創立120周年を迎えます。

2022年4月より大学の公式ウェブサイトがレスポンス対応(ご利用の端末に合わせた表示)となりました。ぜひご覧ください。

父母の会に関するお問合せは、こちらまでお願いします。

高千穂大学 父母の会・事務局 〒168-8508 東京都杉並区大宮2丁目19番1号

TEL 03-3313-0432 FAX 03-3313-0432 E-mail fubokai@takachiho.ac.jp